

花の里づくりの会

第9号会報2013年4月1日発行



平成23年度記念植樹さるすべり(新羽小学校校長先生が撮影)

新羽町連合町内会長

新羽丘陵公園愛護会会長 中山 幹 雄

丘陵公園について

新羽町に丘陵公園が開設されましたのが平成9年3月31日(16年前)であり、公園の面積は24,113㎡(約7300坪)であります。丘陵公園近隣の3町内会(大竹、中央、中之久保)一体となり愛護会が結成されました。平成13年4月1日(約12年前)公園の一部を農家の方にお願ひしまして開拓(コンボ)して2年が経過し中山義信様が芝櫻畑を作り綺麗に花を咲かせて下さいました、ありがとうございました。現在は芝櫻を縮小しジャーマンアイリスを植えてあります。8年前より花の里づくりの会の花苗提供により新羽小学校卒業生の思い出作りの為の卒業記念樹の植栽が始まりました。

器具保管倉庫も出来 トイレも完成 4年前に花壇もベンチも設置され公園らしく充実いたしました、これも港北土木様のご理解ある協力の賜物と感謝申し上げます。愛護会会員20名、新羽小学校校長先生を始め歴代PTA会長、PTAの役員、其の他多くのボランティアの方々の協力により公園の清掃、芝櫻、花壇の草取り等本当にありがたくお礼申し上げます。

最後に花の里づくりの会の益々の発展と公園にかかわるすべての皆様のご健勝ご活躍を御祈念申し上げ会報発刊の一言のご挨拶とさせていただきます。

🌹 ごあいさつ 🌹

今年は、一月に大雪が降り寒い日が続きましたが会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのこととご推察申し上げます。

植栽した樹木等も寒さに負けず生長しております事をご報告させていただきます。

事業につきましては、皆様のご理解とご協力により、計画通り進めることが出来ております。内容につきましては会報に記載しておりますので、お目通しをいただければ幸いと存じます。

又、今回の会報は写真の配置等のおもむきを少し変えて作成してみました。何かお気付きの点がございましたらご一報頂ければと思います。

これからも皆様のご協力をいただきながら、明るい住み良い町づくりに努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

花の里づくりの会 会長 中山 宏



上の絵はこれまでに導入した花木の一部をイラストにしたものです。

平成24年度の植栽及び事業実績

- ◆新羽丘陵公園◆
丘陵公園の花壇の植栽に補助
- ◆県立新羽高等学校◆
通学路の美化整備の花の苗の協力：年2回
- ◆市立新羽小学校 卒業記念樹◆ 7810
ハナミスギ 白1本、ピンク1本
- ◆光明寺◆
ヤマブキ 30本、シャクヤク 20株
- ◆西方寺◆
ツバキ 20本、ヒガンバナ 黄200球・白200球・ピンク200球
クリスマスローズ
- ◆善教寺◆
雪柳 20株
- ◆蓮華寺◆
しだれ桜 3本、ちぢみもみじ3本

平成25年度の植栽及び事業予定

- ◆新羽丘陵公園◆
丘陵公園の花壇の植栽に補助
- ◆県立新羽高等学校◆
通学路の美化整備の花の苗の協力：年2回
- ◆市立新羽小学校 卒業記念樹◆ 7910
未定 2本
- ◆光明寺◆
ヤマユリ 10球、シャクヤク 10株
- ◆西方寺◆
ツバキ 5種類、ハギ 白30株、ヒガンバナ 白200球・黄200球
- ◆善教寺◆
ヒガンバナ 赤200球、雪柳 20株、酔芙蓉 10株、モミジ 5本、
ドウダンツツジ 10本
- ◆蓮華寺◆
西洋あじさい 5本、日本水仙 200球
- ◆専念寺◆
境内整備が終わり次第、モミジと桜を中心として植える
- ◆杉山神社◆
必要があれば植える
- ◆その他◆
枯れた木などの補植

新羽丘陵公園での卒業記念植樹



毎回、トルネード公園に遊びに行くと今までの六年生が植えた記念樹が植えてあって、やっぱり僕たちもこんな風に植えるのか...! と思っていました。卒業の記念に、自分達の身近な公園に記念樹を植えられるって嬉しいです。僕たちの記念植樹にたくさんの人達が関わってくれました。心から感謝します。そしてこれからトルネード公園に遊びに行くたびにこの記念樹を見に行きたいと思っています。

加賀谷 優希

「もうすぐ卒業してしまう」という思いが、植樹中ずっとう頭の中心にありました。そして自分もこの木のようにたくましく生きたいと思いました。この先、十年、二十年後、この木がどのように育っているのか、そのころ自分はどうな大人になっているのか、これも楽しみにしていました。今回たくさんの方が私たちのために集まり、植える手伝いをしてくださいました。本当にありがとうございます。

遠藤 ほのか

平成25年3月4日に植樹



ぼくは、今回植えたハナミズキのように
強く成長したいと思いました。雨にも風にも
負けずに強く生きています。ぼくたちの前の卒
業生が植えた木を見てそう思ったからです。
ぼくたちの植えた木も強く生きてもらいた
いです。木だけではなく自分も強く生きてい
けるように頑張ろうと思います。たまに友達を
連れて見に来られたらいいと思います。そ
の時、自分と木、両方の成長を比べたいです。

小野 楓斗

今回の記念植樹を終えて卒業を改めて感じ
ました。私たちが成長していくにつれ、木も
大きく強く育っていくことになるので木に負
けないくらい努力し、色々なことを経験して
いきたいです。植樹には沢山の方が関わり、
支えてくださっていることが分かりました。
大人になったら私も同じ様に人を支え、感謝
をできる人になりたいです。自然を守り、任
みやすい土地を受け継いでいきたいです。

細川 奈々



初めて記念植樹をして、木が思ってたよりも大きく、もっと大きくなつた時には、私ほどのように成長しているのがな、と思いました。最初に植樹をした学年はもう十九才。自分達もあと七年たつたら、木と同じように立派に成長できていたらいいなと思います。

今回自分達のために集まり卒業を祝つてくださつた方々に感謝しています。そしてこれから、中学校での成長も見せていきたいです。

壺嶋 まなみ

ぼくは、八年前に植えたという木を見た時自分達が植える木とあまり大きさが変わらさず、ぐっぐり伸びているのだと感じました。それを見て、ぼくも木のようにぐっぐりと色々な経験をして育つていきたいと思いました。何もしないで時間が過ぎるのではなく、楽しいことや悲しいこと、つらいこともたくさん経験して人とつながり、ぐっぐりすすくとハブミスキと同じように成長していきたいです。

岩野 州



花水木（ハナミズキ）

新羽小学校長 渡部 洋久

今年も卒業を前にした6年生101名が、新羽丘陵公園に卒業記念樹を植えました。丘陵公園に卒業記念樹を植えられるようになって今年で7年目。1年目から、ヤマボウシ、エゴノキ、シデコブシ、キンモクセイ、サンシュユ、サルスベリと植えてきて、今年の卒業生はハナミズキを植えました。

ハナミズキは、卒業生が育った港北区の木です。若々しく、モダンな印象をもっているため、平成3年に港北区の木に指定されました。でも、このハナミズキは、別名をアメリカヤマボウシと言い、英名もアメリカンドッグウッドと言います。別名や英名の語るとおり、北アメリカ東部が原産地です。

明治時代の終わり頃、アメリカ合衆国の大統領が、合衆国の首都ワシントンD. C. を流れるポトマック河畔に桜を植える計画を立てました。それを知った当時の尾崎行雄東京市長は、桜の木を贈り、それが現在も名高いポトマック河畔の桜並木となっています。この桜の返礼として、日本に贈られてきたのがハナミズキでした。北アメリカ原産のハナミズキは、この時初めて日本にやってきたのです。贈り物のお礼に届いた木だからでしょうか。ハナミズキの花言葉は、「返礼」だといひます。

新羽小学校を卒業した6年生は、小学校に入学してから、様々な地域の方々に教え導かれてきました。そして、小学校の仕上げとして、地域の方から贈られた卒業記念樹を植えました。ハナミズキの花言葉を知って植えていた人はいないかもしれませんが、今まで皆さんの成長を支えてくださった地域の方々への「礼を返す」つもりで、今度は卒業生の皆さんが社会を支える、社会に役立つ人に育って欲しいと思うのです。

ハナミズキは、それを願って、桜が散った後、4月下旬から5月上旬にかけて毎年咲き続け、皆さんの成長を見まもり続けていることでしょう。

新羽丘陵公園での卒業記念植樹風景



ハナミズキ

新羽小学校PTA会長 小山正博

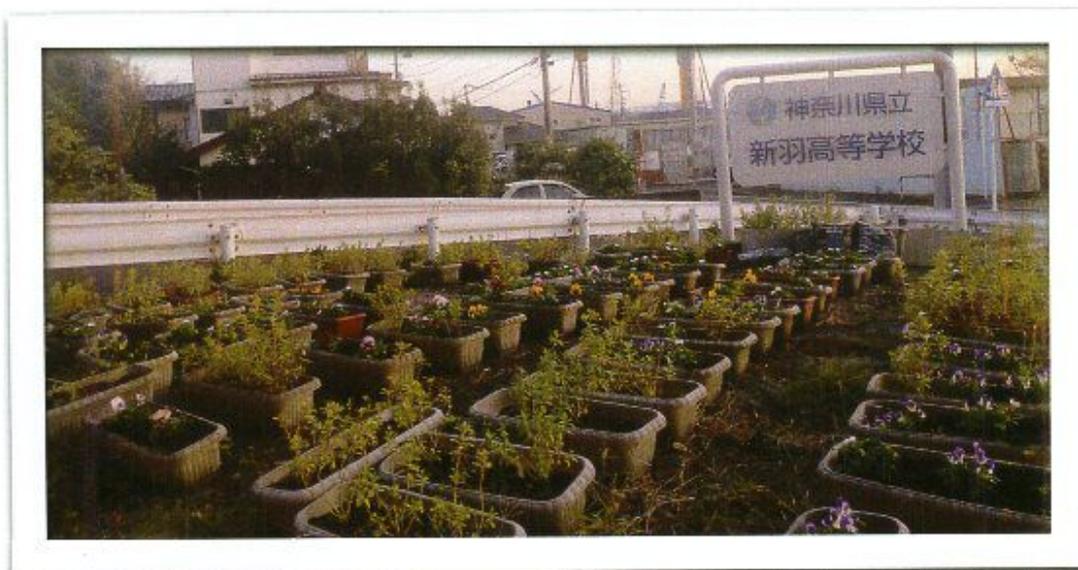
晴天の下、沢山の方々が参加されて、8回目の卒業記念植樹が行われました事に感謝と喜びの気持ちです。

植えられたハナミズキは、4月に沢山の花を咲かせ、子ども達の新しいスタートを祝ってくれることと思います。

子ども達がこの先に、もし悩んだり、迷ったり、つまずいたりしそうになった時に、ここを訪れて、小学校時代に思いをはせて、応援してくれている多くの方々を思い出し、心の原点に戻ってもらえたら素晴らしい事だと思えます。

花の里づくりの会の皆様に心より感謝申し上げます。

県立新羽高等学校の通学路美化整備

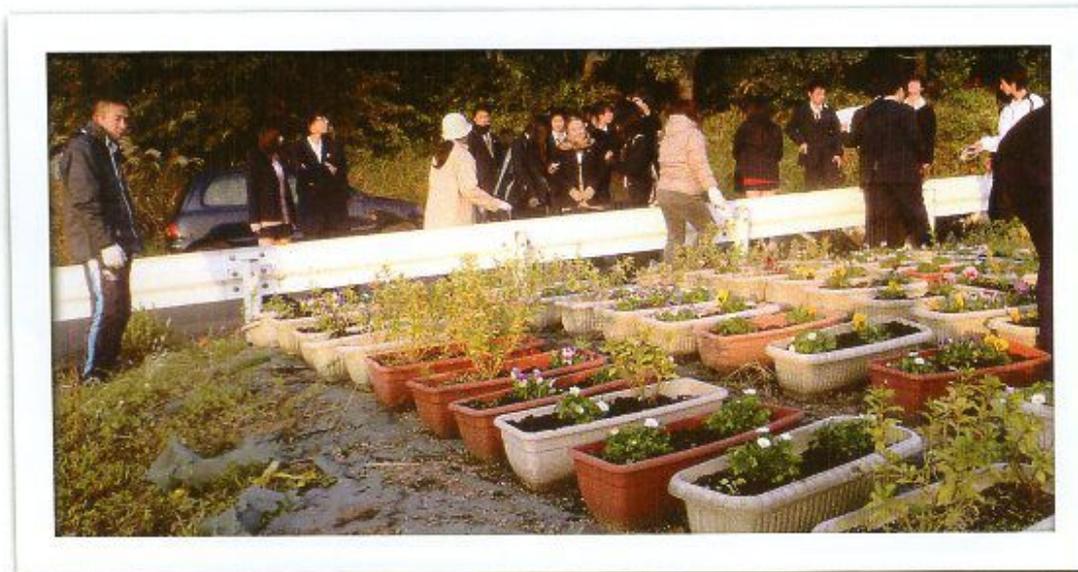


「花の里づくりの会」のご支援のもと、本年度も新羽高等学校では例年通りに植栽を行いました。その報告を致します。

新羽高等学校敷地内の大竹・亀の甲橋側入り口にある三角地の緑化整備を環境整備委員会や各部の生徒を中心として行いました。6月18日には、千日紅・マリーゴールド・日日草とサツキを植栽し、11月19日は、PTAの方も参加され和気あいあいとした中で、パンジー・ノースポール・ビオラ・アリッサムとサツキを植栽しました。その後は水やりをするなどして大切に育てていき、安全な美しい環境を作ることができました。また花をそだてることをとおして学んだことは多く、豊かな感性を学ぶ一助となっています。

今後とも、本校の教育活動につきまして、より一層のご協力とご指導をお願いいたします。

新羽高等学校 秋田 由紀子



光明寺



シヤクナゲ



シヤクヤク



ヒガンバナ



ラッパスイセン



酔芙蓉

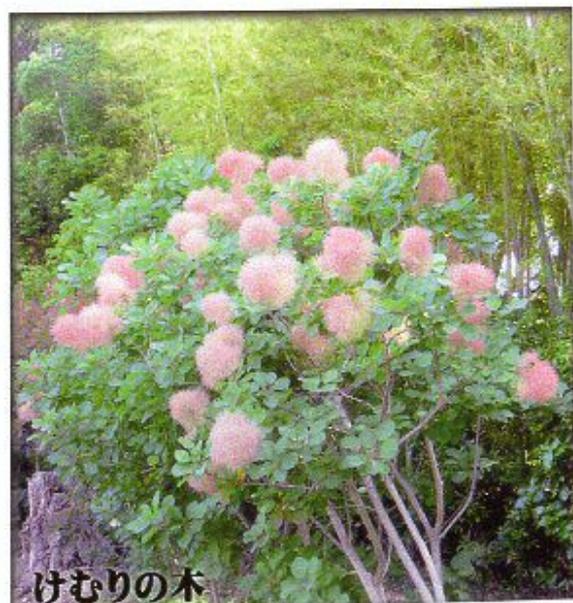


萩

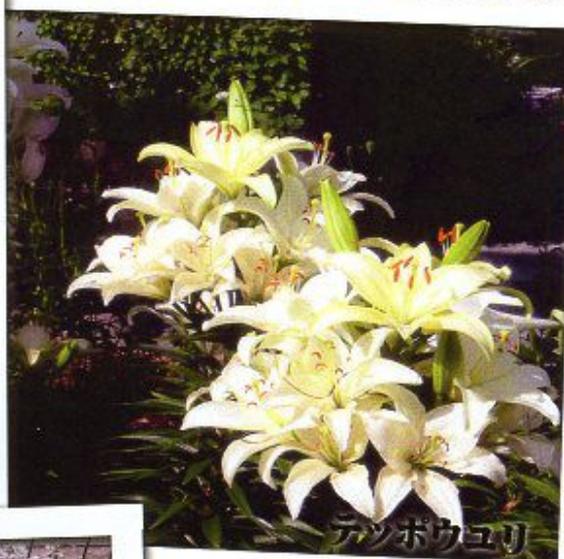
善教寺



ユキヤナギ



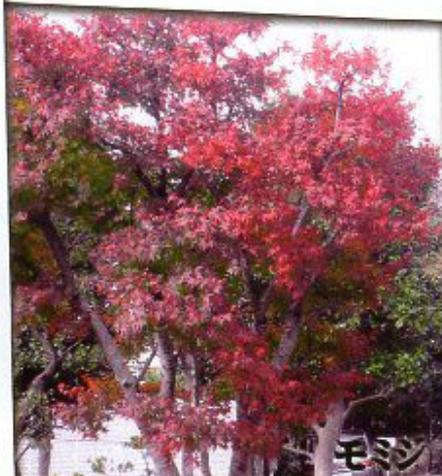
けむりの木



テッポウユリ

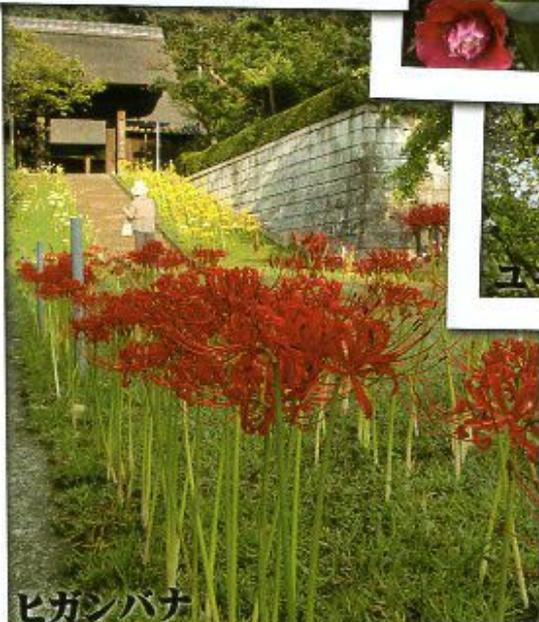
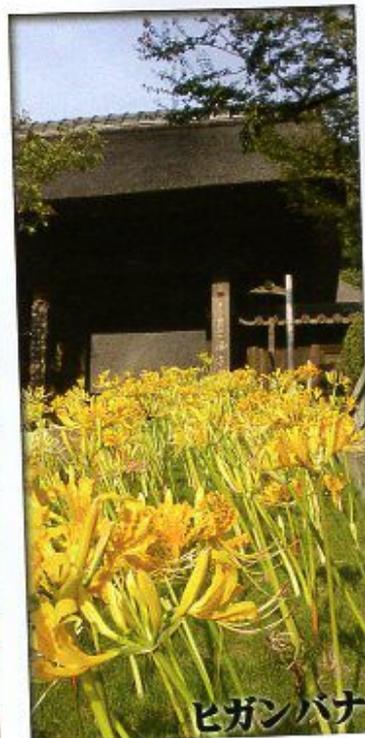


ユキヤナギ

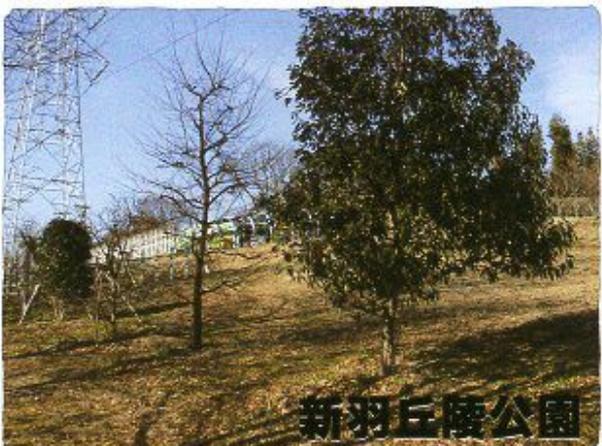
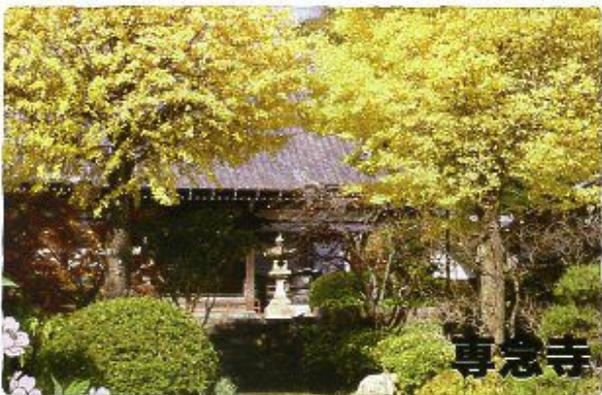
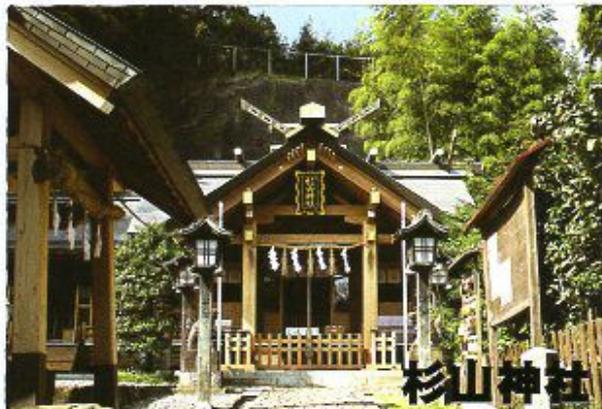


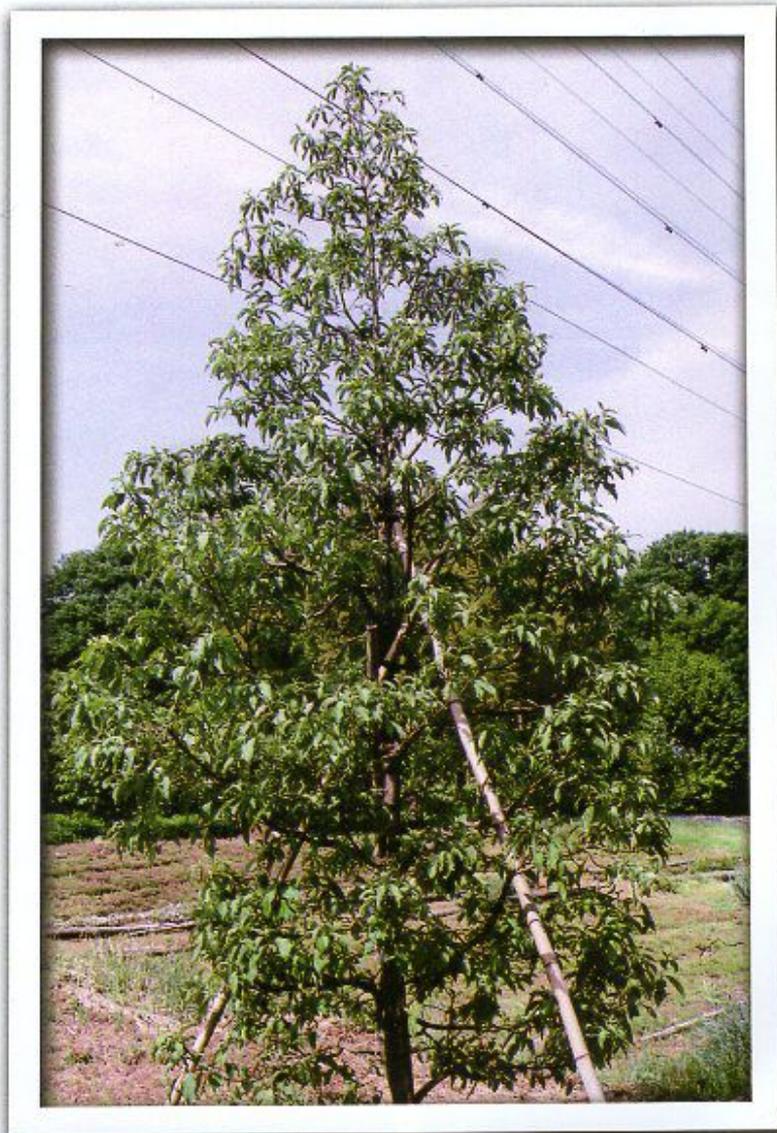
モミジ

西方寺



これまでに植栽にご協力いただいた寺社等





第一回新羽小学校記念植樹(18年3月)ときわやまほうし

本会の趣旨に賛同して参加いただける会員と新たな候補地としての寺社仏閣を、募集しております。ご希望の方はお申し出下さればご説明させて戴きますので、会長宅までご連絡下さい。

花の里づくりの会 会報第九号 2013年4月発行

発行者 花の里づくりの会 会長 中山 宏

お問合せ先 045-541-5578 (事務局 中山宏 宅)